

## <ガーデンハックルベリーの実証栽培について>

レポート作成者：出雲崎町農業委員会事務局 五十嵐

出雲崎町農業委員会では今年度、耕作放棄地対策として「ガーデンハックルベリー」の実証栽培を行った。

### 【ガーデンハックルベリーの特徴】

- ・比較的簡単に栽培ができる。
- ・痩せた土地でも栽培が可能である。
- ・目に良いとされるアントシアニンがブルーベリーの4倍以上と非常に多く含まれている。

### 【実証栽培レポート】

#### 1. 苗起こし（4月11日）

今回はまず苗起こしからスタートした。育苗用のトレー（16穴のもの）を使用し、一つの穴に種を2～3粒ずつ捲いた。なお、土についてはホームセンター等に売っている苗用の土（ガーデンハックルベリーはナス科の植物なので、ナス等に使うもの）がいいのではないかと思う。



今回使用したトレー



ガーデンハックルベリーの種



種を捲いた後に土をかぶせる

種を捲いてから1～2週間で芽が出てきた。発芽率はおおよそ90%程度とかなり高かった。



4月26日



5月7日



5月14日

## 2. 定植（5月23日）

今回は実証栽培用の畑として大字立石地内の農地（72.5㎡）を地元の方からお借りし、89本の苗を定植した。

《定植作業の様子》



①作業前の状態



②牛糞たい肥を撒く。



③たい肥を撒いた後に耕うんする。



④畝立てをしながら、畝間に化成肥料を撒く。



⑤畝にマルチングシートを張る



⑥定植用の穴をあける



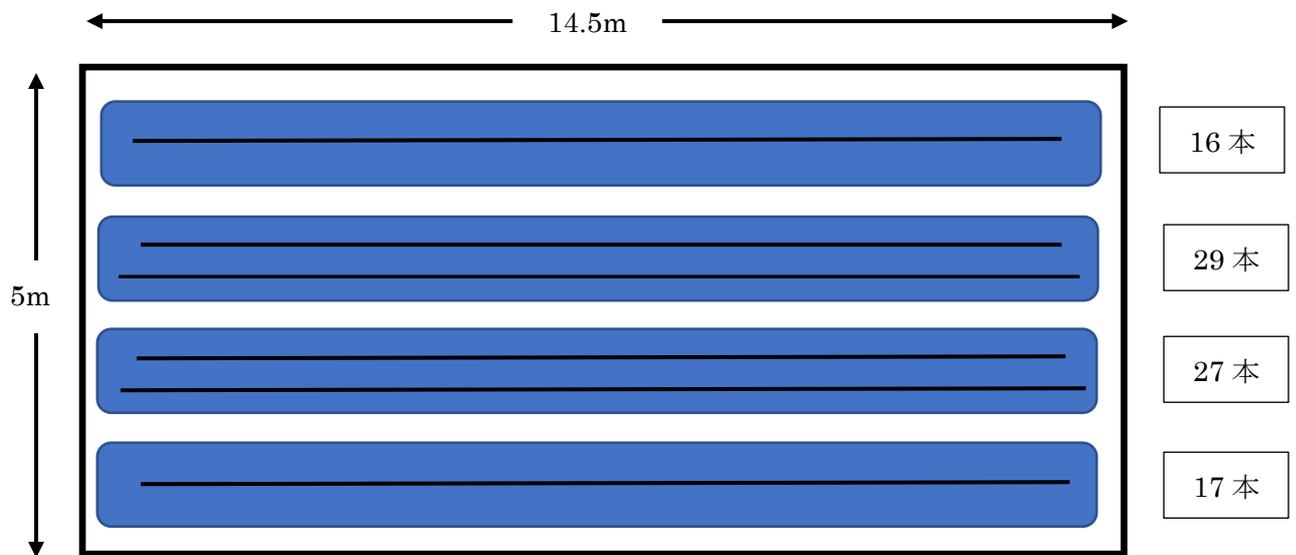
⑦定植



⑧定植の後、支柱を立てる



作業完了後の状態



### 3. 水やり、草刈り（5月～9月）

毎朝じょうろで水をやった。マルチをしてあるため、畝に雑草は生えてこないが、畝間には雑草が生い茂るため、何回か草取りをした。

### 4. 収穫までの観察

7月上旬から花が咲き始め、下旬には緑色の実がつき始めた。ただしこの状態では実に毒素（ソラニン）が含まれており、食用にすることができないため収穫は熟して黒色になるまで待たなければならない。



7/4 開花を確認



7/21 緑色の実を確認

9月になってくると、実が黒くなり収穫ができるようになった。ただ、農業委員会が実証栽培した畑については、元々が耕作放棄地だったこともあり、約半数を枯らしてしまった。この他に農業委員、農地利用最適化推進委員の畑で栽培してもらったものがあり、そちらについては上手く実がついた。



実証栽培した農地の実  
(シワシワしている)



委員から育ててもらった実  
(ツヤツヤしている)

## 5. 収穫（10月）

その場で実を一つ一つ取っていくと時間がかかるため、ハサミを使って房をまとめて切っていた。取った実はそのまま農協の低温倉庫に運び、保管をもらった。委員から育ててもらった分も含めると、6.7kg程の実を収穫することができた。



実は房ごと切り取る

## 6. ジャムづくり（10月25日）

ガーデンハックルベリーの実はそのまま食べてもおいしくないため、ジャム等に加工して食べるのが一般的である。今回収穫した実のうち約20kgの実を使用し、約13ℓのジャムを作った。

《ガーデンハックルベリージャムの作り方》

- ・ガーデンハックルベリーの実 1kg
- ・砂糖 400～500g（お好みの甘さに合わせて量を調節してください。）
- ・重曹 小さじ1    ・レモン汁 大さじ2～3    ・塩 2つまみ



ジャムづくりの様子



瓶詰したジャム

また、11月3日の「生涯学習フェスティバル」にて実（1kg）を販売し、用意した47袋全てを売り切った。その他道の駅「天領の里」に出荷し、ソフトクリームのソースとして使用してもらった。

## 7. 検証

《労力について》

①比較的労力のかからない作物である。

- ・ 苗の発芽率は90%程度とかなり高い。
- ・ 定植等が他の作物に比べて特別面倒ということはない。
- ・ 水遣りは毎日行わないと枯れてしまう。また肥料をやりすぎてはいけない。
- ・ 多少葉を虫に食われたが、実を食べられてしまうことはない。

②収穫した実の使い道が限定される。

- ・ 生で食べることができないため、ジャムや酢漬けに加工しなくてはならない。

《総評》

栽培するのに比較的手間がかからず、実を取るのも難しくもないため、耕作放棄地で栽培をするのに適している、と考えられる。ただし、実の使い道をあらかじめ考えておかないと後の処理に困る。

《最後に》

今回の実証栽培の実施にあたり、御協力いただいた皆様に厚くお礼申し上げます。今後も出雲崎町の耕作放棄地解消に向けた活動をして参りたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。